

教授 和田 義行

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 デザイン演習2-1 (PS) ID・CD	2016. 4. 1～7. 31	ポートフォリオは、「デザインプロセスをいかに明快に見る人に理解できる表現が出来るか?」が重要であり、そのポイントを表現できるアイデア展開のスケッチ力の指導から、立体モデルの写真撮影の仕方、PCを使っのプレゼンテーションボードの作り方までの指導を行う。
デザイン実技Ⅱ-1 (PS) ID・CD	2016. 4. 1～7. 31	プロダクト・インダストリアルデザインの基礎として、手と頭をつなぐための訓練からスタートし、ステップごとに物づくりへ展開できる能力を育成する。スケッチや物づくりの楽しさを理解し、製品デザインのつくりを見ぬき、プロダクトデザインの基礎を修得することを目的とする。
デザイン実技Ⅲ-1 (PS) ID	2016. 4. 1～6. 19	デザインの基礎訓練（描写、スケッチ、レンダリング、作りを見抜く製図、立体把握のためのモデリング）などを実践訓練をしながら指導を行った。
デザイン実技Ⅲ-1 (PS) ID	2016. 6. 20～7. 31	インクルーシブデザイン（ターゲットユーザーと共にデザインプロセスを試みて、最終デザインまで完成させる）実技指導を行った。
製品企画論A	2016. 4. 1～6. 20	社会に役立つデザイナーを目指した講義、地球環境や社会環境を理解しながら、デザインプロセスをどのようにスムーズに行うか?を実践例を参考資料に解りやすく指導。さらに各ジャンルの有名デザイナーのデザインプロセスを紹介し、学生の不足している能力を活性化する講義を行った。
デザイン実技Ⅰ	2016. 9. 20～1. 10	インダストリアルデザイン、スペースデザインの基礎となるデザインプロセスに基づく立体造形表現の実践指導を行った。
デザイン実技Ⅲ-2 (PS) ID・CD		ユニバーサルデザイン、グリーンデザインを目的に、社会に提案できる能力を育成するための実践指導を行った。
デザイン実技Ⅳ-2	2016. 7. 27～3. 8	社会にデザイン提案できる能力を育成するための卒業制作プログラムの実践指導を行った。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	大学評価アンケート参照ください。	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
名古屋芸術大学教員展		2016. 6. 10～15	名古屋芸術大学 Art & Design Center	マルマン株式会社との産学協同プロジェクトの製品化までのプロセス展示。 特別客員教授 ポール・ブリーストマン ワークショップ 「未来の自転車について」の作品を発表展示。
国際交流子供芸術教室開催		2016. 7. 9	西キャンパスU102教室	交換留学生、芸大生、と地域の小学生を招いて、絵を描くことを題材に外国語に接し、国際感覚やコミュニケーション能力を養うイベントを開催。

西三河地区高文連美術展講 評会開催		2017. 1. 22	岡崎市美術館	三河地区の高等学校美術展の各高等学校の作 品講評会を開催
----------------------	--	-------------	--------	---------------------------------